

香川県 若年性認知症支援コーディネーター事業通信

春の暖かさが感じられる頃となりました。皆さま、お変わりございませんでしょうか。

さて、3月8日に、若年性認知症自立支援ネットワーク研修会を開催しました。今回は、研修会の様子をご紹介します。

ネットワーク研修会

今回は、ヤングケアラーの支援について取り上げました。

講師に、一般社団法人ケアラーワークス副代表理事の伊藤耕介さんをお招きし、「ヤングケアラー支援を考える～若年性認知症の親と向き合う子ども世代～」のテーマで、ご講演いただきました。

ヤングケアラーの基本的な捉え方や地域での子ども世代の集いの活動について紹介していただきました。

また、講師の伊藤さんは、学生時代に、若年性アルツハイマー病の父親を介護してきた経験をお持ちであり、貴重な介護経験のお話も聞くことができました。

終盤では、参加者同士で講演会を聞いての感想等意見交換をしました。



〈講演会の様子〉



〈意見交換の様子〉

参加者の皆さまのご感想

- ・高齢者の認知症と質が違い、若くして家事や介護を担っており、経済的、家庭的負担が大きく、友人との時間が少なくなり、孤独や将来の不安を多く抱えていることを知り、そのような子どもたちに気にかける姿勢をもつことが大切だと思った
- ・講師の体験談から「仲間の大切さ」「支える覚悟」「いつでも相談していいことを伝える」といったメッセージが特に心に残った
- ・支援を受ける人の世代によって課題の内容は変わるが、どの世代に対しても孤立させないことが大切だと感じた
- ・ヤングケアラーの定義を再確認できた。ヤングケアラーの存在に気づくことが大切で、意識したいポイント、声をかける時に気をつけたいことを学べた
- ・意見交換では、顔の見える形で、情報交換ができ、それぞれの職種で今まで関わってきたケースについて聞くことができ、良かった
- ・「自分はヤングケアラーである」という認識を持つことが、本人や周囲の人にとって、メリットなのか、デメリットなのかは、その人の精神的なところによる部分が多い気がするが、支援をするにあたって、1つの枠組みを作ることで、支援が行き届く場面が増えるといいなと思う

など

たくさんのご感想ありがとうございました



〈発行元〉

香川県若年性認知症支援相談窓口(担当:吉見)
TEL 080-4719-5073
メール iwaki-sc@oregano.ocn.ne.jp
(受託先)医療法人社団 以和貴会 いわき病院